

病院というところ

あまり精神科批判をすることはしたくないのだが、ある方に対する対応の仕方について考えていただきたい。Aさんは母親と二人暮らしであったが、ある時母がケガをしてしまいAさんの世話ができなくなってしまった。一人暮らしは無理であろうという事で、お世話になっていた精神科に戻ることに。Aさんの母は例外なく高齢者であり、ケガは2ヶ月余りで治ったがAさんはなかなか退院できない。↓
(TRHのホームページ: <http://www.geocities.jp/recoveta/>)

Aさんの病状は元々安定しており、誰が見ても入院にはふさわしくない人であったが、結局母親のケガが治った後に、1ヶ月は入院していた。ケースワーカーに尋ねても、何のための入院かははっきり分からなかった。Aさんがはっきりとご自分の意見を言わないことをいいことに、入院を伸ばすことができるのはどうということなのか？言い方を変えれば、病状が安定しているからこそ入院を伸ばすことができる状況とはどうということなのか？これは精神科医療というものなのだろうか？この方のショートステイ利用の申請を準備はできていたが、退院がいつと分からない限り申請することはできない。(続く)

電話: 070-5680-0916

メルアド: hillman@tea.ocn.ne.jp

ファックス: 050-3737-7151

» NewsNews »

8月の講演会の名義後援の申請をしました。申請先は香川県、高松市、香川県社協、高松市社協、香川県精神障がい者家族連合会の予定ですが、全て許可してくれるでしょうか？

GHの話

自立支援協議会の精神保健福祉部会でグループホーム利用についての話になった。精神科のPSWや家族の方たちはGHの利用を求めていたり、実際にもっとそのサービスが増えることを要望しているが、ある方から「GHに入れてしまえばそれで終わりと考えるのはおかしい。」という話があった。長期入院者の問題は香川では手付かずの状況であるが、GHをかつての精神科病棟と置き換えてしまっている状況があるのではないかという指摘であった。その方のお話をよく聞いてみると、利用されている本人もGHから↓



Takamatsu
Recovery & Hope

TRH通信2015.6.vol.10

発行責任者 NPO高松Recovery & Hope : 齋藤 工 発行日2015年6月30日

GHの話

出たくない方が多いと聞く。ご本人の選択であるからそれ以上は言えないのだが、精神科の長期入院者と同じ構図ができてしまっているのが分かる。その方の結論は「GHは通過施設であるとの認識を持ってほしい」というものであったが、全くの賛成である。GHは福祉サービスであるから、相談支援事業者がどうしても間に入ってくる。この第3者が本人とGHとの間に入れることはとても重要だと考える。確かに何らかのケアが必要で、なおかつご自分の意見を言いつらい方はおられる。第3者がその方の真意を確認しながらのサービス利用というのが理想であろう。香川県の精神科でもそのような風通しの良さが見受けられるようになったらいいなと思う。

あの頃に戻りたい

ある方と面談していた際に、その方が時々「あの頃に戻りたい」と話されていることが分かった。その方にとってあの頃とは、優しい祖父が生きており、家を増築して自室を与えられた時だった。あの頃に戻りたいとは、その人が心から幸せを感じていたからだと察せられる。私たちにも等しく幸せを強く感じた瞬間があった。最近歳のせいかわろく、話を聞いて泣いてしまった。今が不幸せなわけではない。何故涙が出たのか分からないが、その幸福を渴望する心に忘れていたものを思い出させてもらったからだろう。重いハンディを考える時に「時が問題を解決してくれる」とふと思ってしまう時がある。しかし、時間というのは、ときに最も残酷な“もの”なのかもしれない。幸せなあの頃には戻れないのである。だからこそ ↓

私たちは幸せを追求するのである。

重松山の思い出

在学してた高校のそばにシゲマツと呼ばれる山があった。標高767mで、私は三年間で60回近く登った。シゲマツは山としての魅力は左程ないが、近くで登りやすいということもあり登っていたような気がする。山道らしい道はなく、一旦尾根に上がると、母校が見えたり周辺の集落が見えたり、四季の木々や花々の変化を楽しんでいた。10月のある時にキャンプをしながら先輩と二人で登った。あの時の満天の星々、手を伸ばせば届きそうな輝きだった。その先輩は今福島で小児科をしながら福島の実現と闘っている。その人の現実がこのNPOを立ち上げた動機の一つかもしれない。母校は山形県であるが、周辺のキノコは放射線量が高く今は食べられなくなってしまった。

<来月の予定>

・7月11日(土)

14時～15時

理事会

15時～17時

家族学習会の

企画会議

・7月25日(土)

15時～17時

定例会

場所はいずれも

栗林コミセンです。

(高松市栗林3丁目2-12)